

(様式2)


2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」




事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【静岡県】

学校名【伊豆市立修善寺南小学校】

1 実践テーマ	I・II・(III)・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 44名 職員 2名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 ( ) ③ その他（総合的な学習の時間） (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	昨年までの学習でオリンピック・パラリンピックについての情報を入手している子どもたちが、総合的な学習の時間で福祉に関する学びの中で、パラリンピックの種目「ボッチャ」を実際に体験し、パラリンピックやインクルーシブな社会（共生社会）づくりへの関心を高める。
5 取組内容	① 「福祉って何だろう」を考える。 福祉協議会の方から「福祉とはみんなが幸せになること」という話を聞き、身の回りの「みんな」について学習する計画を立てた。 ② 「耳の不自由な方の気持ち」を考える。 「かえで会」の方との交流を通し、手話や指文字について学んだ。 ③ 「目の不自由な方の気持ち」を考える。  <p>視覚障害者の方から不自由さや工夫、盲導犬についての話を聞き、アイマスク体験や点字について学ぶ体験を行った。</p> <p>②③の体験を通し、様々な立場の方について、どのようなことがバリアになっているのか、それを解決するためにはどのような考え方が必要なのかを考えた。</p> ④ パラリンピック種目「ブラインドサッカー」を視聴し、障害がある方でも自分たちと同じように厳しい練習を行い、勝った喜び、負けた悔しさは変わらないのだという事を学んだ。

	<p>⑤車椅子体験をとおし、身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインに着目し、「もっとみんながバリアを感じることなく生活ができるようになるには」について考える。 実際に修善寺駅やスーパーに出向き、見学や調査を行った。</p>  <p>⑤ パラリンピック種目「車いすテニス」「車いすバスケット」を視聴し、このほかにも車いすを使う方ができる競技が多くあることを知った。</p> <p>⑥ パラリンピック種目「ボッチャ」に挑戦。 ボッチャを実際に体験することで、「みんなとは」についての思いを深めた。</p>  
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の学習の中に含めたことで、オリンピック・パラリンピックをイベントにとらえるだけでなく、「みんなが幸せになる」という視点から開催を心待ちにするようになった。また、ただ「障害があるのにすごい」と考えていた児童が、努力することや、楽しいと感じること、うれしいという思いは同じだという考えに変わったことは、インクルーシブな社会（共生社会）づくりへの関心が高まったといえるのではないかと考える。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭ではわかっているが、実際に不自由なことを身をもって体験してみないと心に落ちないと考え、ハンデを持つ方の協力のもと、話を聞いたり体験したりする活動を事前に行った。実際子どもたちができるパラリンピック競技はボッチャだったが、映像でその他のパラリンピック競技を見ることで迫力が伝わり、自ら競技種目を調べるきっかけにもなった。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度パラリンピックを目指す本校卒業生を招聘して講話をいただいたので、本年度も違う競技の方に講話をと考えていたが、かなわなかった。</li> <li>ボッチャ体験はパラリンピックの種目を身近に感じる上でとても有効だった。ゲームに夢中になってしまう傾向も見られたので、道徳の時間などをおして、選手の思いにもふれるとよいと感じた。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の学習をとおし、パラリンピック競技について学んだことを、他学年にも発信し、そこを起点として「共生」の意識を広めていきたい。</li> </ul>